

## 令和 7 年度 の 取組 内容 の 報告 及び 令和 8 年度 の 活動 方針 （ 案 ）

令和 7 年度 の 取組 内容 （ 地域 移行 ・ 地域 定着 部会 ）		令和 8 年度 の 活動 方針 （ 案 ）
主な 取組 内容 及び 課題	成果 及び 結果	新（ 地域 生活 支援 部会 ）
障がい者の地域移行に向けての地域住民への理解促進及び、障がい者の地域移行に向けた意識の向上、社会貢献の機会の増進について	<p>●研修グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東足羽民生児童委員協議会の定例会で民生児童委員向けに「誰もが当たり前に暮らせる地域社会へ～支援が必要な方と地域で暮らすために～」をテーマにした出前講座を行った。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <p>日 時 ： 令和 7 年 6 月 1 2 日（木）</p> <p>場 所 ： 上文珠公民館</p> <p>受講者 ： 東足羽民生児童委員（ 2 4 名） アンケート回収（ 2 3 名）</p> <p>内 容 ： 研修前に地域包括支援センター、地区相談事業、基幹相談支援センターによる業紹介により支援者間の連携強化を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センター主催の市内の精神科病棟の相談員が集まる会議（精神科長期入院患者の地域移行・定着を促進する会議）に部会員が出席し、精神疾患患者の退院支援の阻害要因などについて課題把握や意見交換を行った。</li> </ul> <p>【会議内容】</p> <p>日 時 ： 令和 7 年 9 月 9 日（火）</p> <p>場 所 ： 福井県社会福祉センター 1 階 大会議室</p> <p>参加者 ： 精神科病棟の相談員など 2 0 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 3 回部会にてピアサポーター（当事者）が部会に参加し、体験談を伺うことで、ピアサポーターに関する知識や実情への理解を深める機会をもった。</li> <li>・令和 8 年 2 月 1 7 日（火）に成和地区の民生児童委員協議会に対して居宅生活支援部会と合同で出前講座を実施予定。</li> </ul> <p>●アンケート・広報グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座を受講した支援者に対して、活動の中での障がい者と関わる機会があるか、支援する際の困りごとがないかなどのアンケート調査を行った。そのアンケートでは、活動の中で障がい者と関わる機会が 1 度もないという民生児童委員が半数を占める結果となり、地域の中で支援が必要な障がい者が見えにくい状況があることがわかった。</li> <li>・入所施設・精神科医療機関向けに地域移行希望者の有無や地域移行における個別課題などをアンケート調査し、調査内容の分析に取り組んだ。</li> </ul> <p>【調査先】入所施設（ 5 箇所） 精神科病棟（ 6 箇所） 合計 1 1 箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 8 年 1 月 6 日（火）にアオッサにて開催された民生児童委員の会長が集まる定例会で、居宅生活支援部会と地域移行・地域定着部会が行っている出前講座について周知活動を行った。※周知チラシは、別紙のとおり</li> </ul>	<p>○施設入所者や精神病床の入院患者の地域生活への移行に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所施設、精神科病院等への地域移行に関するアンケート結果の検証を行う。</li> <li>・出前講座の実施やピアサポーターの活用等により、障がい者の地域理解を促進させるための取り組みを行う。</li> </ul> <p>○地域生活支援の充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた地域（日常的な生活範囲）での安全・安心な暮らしの継続のため、移動に関する課題の整理と検討を行う。</li> </ul> <p>○重度障がい者の支援に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親亡き後を見据え、課題の整理と検討を行う。</li> </ul>